事業番号	15　03　16

事業改善シート（28年度実施事業分）

□当初要求　□当初予算案　■補正予算案　□点検

事業名	学びと働きを連携させた信州創生のための新たな人材育成モデル事業費	担当課	部局：教育委員会事務局
			課・局・室：高校教育課
総合5か年計画	プロジェクト：		E-mail：koko@pref.nagano.lg.jp
	施策の総合的展開：7-1　子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実		
		実施期間	H28　～
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針：		
	施策展開：		

1　事業の概要

目指す姿	県内高校に「学校での学び」と「地域での実践的な働き」をコーディネートするデュアルシステムを構築し、産業界が求める人材の育成と地域の魅力を活かした活躍の場を創出することにより、個人の能力を活かし、産業を支える人材の定着を図っていく。
現状（予算編成時）	地域が、今後の変化の激しい社会に対応していくためには、確かな力を持った人材の地域への定着が必要である。 この確かな力を育むために、「学び」によって「働き」の質を高め、「働く」ことで「学び」の必要性を認識できるような相乗的な営みを、生涯に渡って繰り返すことのできる人材育成モデルを形成していく必要がある。
県が関与する理由	県でなければ実施不可（その他） 県民との協働による実施：　実施中 【左記の説明、根拠法令等】 学校教育法、産業教育振興法、長野県立高等学校管理規則

成果目標・事業内容

① 成果目標（H28）

航空産業を始めとする成長産業、精密加工産業を始めとする基幹産業における人材育成を支援するため、県内4地区をモデルとして企業、高校、地域を中心とした協議会組織を立ち上げ、組織にそれぞれを連携するコーディネータを配置する。

コーディネータは、「学び（学校）」と「働く（企業）」をコーディネートし、モデルとなる高校は生徒全員が参加するデュアルシステムを構築していく。また、将来的に地元企業への就職希望者の増加を目指し、地域の可能性を再発見させるため、普通高校に展開していく。

モデル校卒業者の地元就職率：平成30年度までに5～10％アップ

② 事業内容　（単位：千円）

項目	実施方法	H28実施内容	H28（補正前）	H28（6月補正）	H28（補正後）
成長産業・基幹産業における人材育成	直接	協議会組織立ち上げ、コーディネータの配置、企業実習、試作品の製作、企業技術者・大学教授による指導、実習機器購入、課題研究発表会の開催、フィールドワークの実施	－	65,124	65,124
地域の可能性を再発見する郷就人材育成	直接	ワークショップの開催、グループ企業・展開事業所視察、若者の地元定着率アップに向けた調査・研究	－	1,178	1,178
		合計	0	66,302	66,302

事業コスト

区分（単位：千円）		26年度	27年度	28補正後
予算額	前年度繰越			0
	当初予算			0
	補正予算			66,302
	合計（A）	0	0	66,302
Aの財源	一般財源			33,151
	県債			0
	国庫支出金			33,151
	その他	0	0	0
決算額（B）				
概算人件費	職員数（人）			7.00
	概算人件費（C）	0	0	57,806
概算事業費（B（A）+C）		0	0	124,108

成果目標の達成状況

項目	H26末	H27末	H28 目標	H28 成果	H28 達成状況	H29 目標
モデル校卒業者の地元就職率	ー	ー	H27年度末実績から１％もしくは３％増			

要求からの主な変更点	要求どおり